



News Letter

校庭芝生化

ニュースレター

表紙
の
学校

昭島市立武蔵野小学校 地域の人々が芝生の校庭に集う

- ① 531名
- ② 平成22年8月
- ③ 3,766㎡
- ④ 全面芝生

武蔵野小学校では芝生に親しむイベントである「芝生エス（しばフェス）」をPTA主催で開催しています。今年は9月7日、自治会の協力を得て、地域ぐるみの一大イベントとして催されました。

武蔵野小では芝生を介した地域との連携がしっかりと根付いています。

CONTENTS

特集

芝生で地域とつながろう

- 親方参上
- 校庭芝生化データ
- 芝生お悩み相談室

校庭芝生化校
データの見る方

- ① 児童又は生徒数
- ② 芝生が完成した時期
- ③ 芝生化面積
- ④ レイアウト

特集 芝生で地域とつながる

地域と協力して芝生の維持管理を行っている学校では、これまで以上に地域とのつながりが深まり、学校にも地域にも、そして子供たちにも良い効果が生まれています。

今回の特集では、地域への声掛けから、地域ぐるみで芝生を復活させた例、そして芝生を活用した地域交流の現場まで、芝生化1年目から4年目の学校の事例をたどり、芝生を通じた地域連携の取組を御紹介します。

芝生を通じた地域連携の様子



芝生を通じた地域連携の第一歩

地域への声掛け

江東区立浅間堅川小学校

芝生化されたばかりの校庭に地域の方が集まり、初めての芝刈りに汗を流しました。

- ① 854人
- ② 平成26年3月
- ③ 345㎡
- ④ 一部芝生化

好評だった芝刈り体験

校庭に初めて芝生を導入した学校にとって、継続して維持管理を行う体制づくりは大きな課題です。今年、校庭の一部を芝生化した浅間堅川小学校は、地域の高齢者に登下校時の児童見守りに協力してもらうなど、これまで地域と良い関係を築いてきました。校

庭の芝生にも地域の力を借りようと声を掛けたのは、見守り活動に参加し、校庭利用団体でもある野球チームの皆さんでした。芝刈り体験終了後「週1回くらいなら数人ずつ交替でやろう。」という声が上がリ、芝生を通じた地域連携は順調なスタートを切りました。

みんなの共有財産へ

芝刈りが終わった校庭では、PTA主催のかけっこ教室が開かれました。江川宏校長先生は子供たちが元気に走り回る姿を眺めながら、「芝生がみんなの共有の財産になるよう、地域やPTAの皆さんと相談しながら活用していきたい。」とおっしゃっていました。



初めての芝刈りに挑戦



オリンピック選手に教わったかけっこ教室



芝生復活3か年プロジェクトを実施

地域ぐるみで維持管理

瑞穂町立瑞穂第三小学校 大規模芝生化の翌年、芝生が傷んだ際の危機感が、地域との連携を深める契機となりました。

芝生の危機が皆をひとつに

芝生の校庭を使いながら、芝生の状態を良好に保っていくことは、校庭芝生化校共通の悩みです。瑞穂第三小学校では、芝生化1年目に養生不足や部分的に使い過ぎてしまったことなどが原因で、全体のうち3分の1以上の芝生が傷んでしまいました。

そこで、芝生管理団体「三小グリーンサポート」を中心に「芝生復

活3か年プロジェクト」を立ち上げ、児童、教職員、保護者、地域住民及び企業のボランティアなどが協力して補植活動を行ってきました。その結果、地域との絆の深まりとともに、芝生も見事に復活していきました。

石坂隆文副校長先生は、「復活した芝生は地域の底力の証です。芝生を介して子供や学校が地域に見守られていることを実感できました。」とおっしゃっています。



約200名が参加した補植活動

芝生だからできる地域との交流

子ども大人も芝生に親しむ

多摩市立東愛宕中学校 地域主催の防災訓練や児童館との交流を芝生の上で実施し、地域との連携を深めています。

地域の防災訓練も芝生の上で

校庭の芝生は、地域住民が集まり、交流する場でもあります。東愛宕中学校では、地域の高齢者がグランドゴルフなどで芝生に親しんだことをきっかけとして、芝生の維持管理に協力するようになり、地域主催の防災訓練も芝生の校庭で行われるようになりました。



地域の人が参加した恒例の防災訓練



芝生エスが、地域をひとつに

子ども大人も芝生に親しむ

※学校のデータは表紙に

昭島市立武蔵野小学校 PTAと自治会が協力し、地域交流に成果を挙げています。

PTA主催の芝生エスに自治会が協力

広い芝生の校庭で行われるイベントを通じて、地域と学校の絆を深めようとする試みがあります。武蔵野小学校では、芝生の上で子供たちが競う「芝生エス」をPTA主催で開催しています。自治会に積極的な参加を促すPRの場を探していた昭島市の自治会連合会が、子供とともに多くの保護者と教職員が参加する芝生エスに注目し、全面的に協力してくれました。

プログラムは午前がニュースポーツで競う「芝生エス」、午後からはダンスや音楽演奏など

のイベント及び自治会活動への参加の呼び掛けなどが行われました。



芝生の上で元気にダンス

芝生復活3か年プロジェクトのキャッチフレーズ

- 1年目（平成24年度） 自分たちで育てる芝生
- 2年目（平成25年度） 校庭全面緑色の芝生復活
- 3年目（平成26年度） スライディングができる芝生



平成24年8月



平成26年8月



雑草取り「こんなに取ったよ！」

- ① 392人
- ② 平成23年10月
- ③ 5,147㎡
- ④ 全面芝生

児童館の子供たちと芝生で交流

東愛宕中学校は、環境、防災等の課題に積極的に取り組む「持続発展教育（ESD）」に力を入れています。芝生を活用した生徒と教職員による防災キャンプもその一つで、地域の人を招いて、災害時を疑似体験します。また、近所の愛宕児童館に通う幼児たちが東愛宕中学校の芝生を訪問し、生徒たちと一緒に遊ぶ交流も続けられています。少子化で幼児に触れる機会がなくなった生徒にとって、貴重な経験となっています



芝生の上で幼児と遊ぶ育児体験



非常時を想定した防災キャンプ



- ① 156名
- ② 平成22年3月
- ③ 1,100㎡
- ④ 第二校庭



子供たちと先生と一緒に演奏



地域の人が自治会をPR

子供たちの笑顔を見に

PTA主催の学校イベントに地域自治会の協力を得た背景には、学校と地域、地域住民同士のつながりを深め、災害の時などに連携し

合えるようにしたい、という期待がありました。「芝生の上だと、子供の笑顔が2倍、3倍になる」と感じていた志岐秀明PTA会長のねらい通り、元気に駆け回る子供たちの笑

顔を見に、地域の人も含めて大勢の参加者がありました。これにより、芝生を通じた地域交流が実現しました。

『芝生には人を集める魅力がある』

親方
参りよ!



校庭芝生の親方（または匠）*にお話を伺う「親方参上！（匠参上！）」の2回目は、特集でも取り上げた昭島市立武蔵野小学校の五十嵐公宣校長先生です。

昭島市立武蔵野小学校
い が ら し き み の ぶ
五十嵐 公宣 校長先生



五十嵐校長先生が芝生の刈り高を変えて作った運動会用の走路

防災訓練で芝生が認知される

芝生化した翌年に東日本大震災が起き、防災に対する関心が高まりました。いざというときは、学校が地域の避難所になります。そこで、学校と地域の距離を縮めるためにも、一緒に防災訓練を行うことにしました。

防災訓練は校庭芝生の存在を地域の皆さんに認知してもらおう絶好の機会となり、維持管理のボランティアも増え、芝生の状態も良好です。そして創立40周年の今年、芝生エス（しばフェス）と地域交流会を一体で開催しました。

芝生の校庭を地域の中心地に

芝生エスにおいて、地域の方が多く参加されたことは“芝生には人を集める魅力がある”ことを示しています。

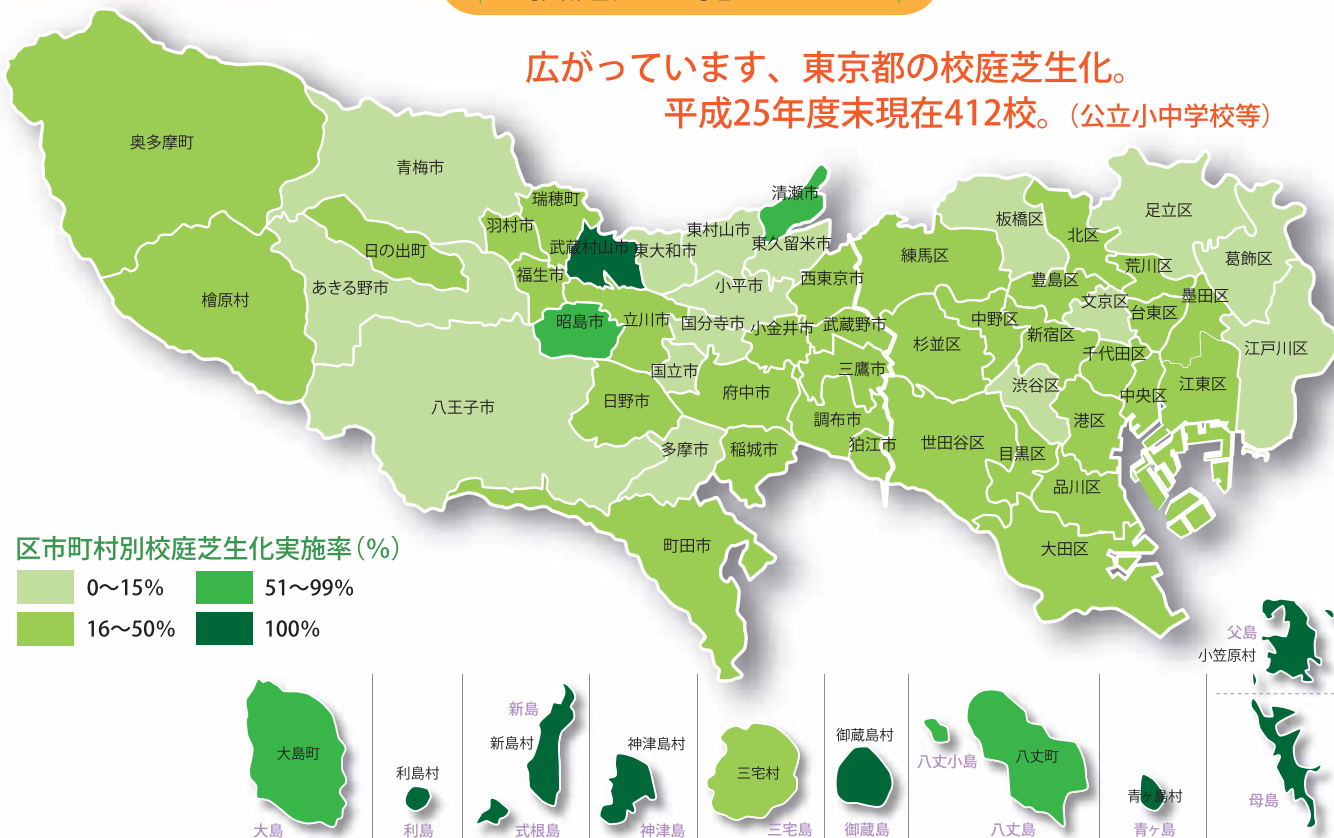
また、地方出身者が多く住む地域の特性を生かし、日本各地の伝統文化や技術を子供たちに伝える場としても芝生を活用していきたいと思います。今後も芝生の上でのイベントを増やし、芝生の校庭を地域の中心地にしていきます。

*校庭芝生の親方・匠とは

東京都教育委員会は、都内の校庭芝生化校で、芝生の維持管理に関して多大な貢献をされ、体制の構築や取りまとめに尽力された方を「親方」、技術的な指導に尽力された方を「匠」として認証しています。

校庭芝生化 DATA

広がっています、東京都の校庭芝生化。
平成25年度末現在412校。（公立小中学校等）





芝生お悩み相談室

答える人

公益財団法人 都市緑化機構 研究部 主任研究員

いちじょう よしかた

一條 良賢 さん

Q 芝生の維持管理組織は、どのように運営していけば良いでしょうか。

私は、「校庭芝生化技術支援業務」を通して、多くの芝生化校に伺い維持管理組織を見てきました。芝生の維持管理組織には、以下の三つの運営パターンが多く見られます。維持管理組織設立時等に参考にしてください。

① 地域ぐるみで運営

比較的多い運営パターンが、地域の方や校庭開放利用団体の方を代表者とするケースです。代表者の方が組織に長く携わるのが特徴で、安定した運営が期待できます。



② PTAが主体での運営

次に多い運営パターンに、保護者と教職員が協力して維持管理しているケースがあります。構成員が毎年変わっていくため、芝生を通じてPTAの交流が盛んになっている例があります。



③ 教職員・児童・生徒を主体とする運営

児童や生徒が日常的に芝刈りをしている学校や、全校を挙げて補植活動を実施している学校もあります。子供たちが日常的に芝生に携わるので、児童又は生徒の芝生に対する意識が高くなる傾向があります。



いずれのパターンも、良好な組織運営のためのポイントが主に2点あります。

○ 維持管理記録を付けておく

維持管理組織の運営において、芝生の維持管理記録を付けるとよいでしょう。引継ぎの際の良い資料となる上に、前年同時期に行った作業内容が分かります。維持管理記録のひな形を提供しておりますので、是非御利用ください。

○ 毎回の維持管理作業時間を1時間以内に収める

日常的な維持管理作業は1時間程度が適切であると思います。1時間程度の作業とすることで、無理なく継続して維持管理作業に携わることができます。

【まとめ】 以上、主な三つの運営パターンと良好な組織運営のためのポイントをお伝えしました。ただし、どの運営方法が正解であると決めることはできません。学校の状況に合った運営方法を見つけてください。その際、何かお困りのことがありましたら、サポートいたしますので、是非御連絡ください。

「校庭芝生化技術支援業務」のご案内

芝生のお悩み、解決します！

東京都教育委員会では、校庭芝生化に取り組む学校に技術的なサポートを行っています。

- 相談窓口……………計画段階のお悩みから芝生化後の維持管理まで、校庭芝生のことなら何でも相談を受け付けます。
- 専門家の派遣……………芝生の専門家を学校に派遣し、各校の状況に応じた助言等を行います。
- 実地講習会の実施……………学校やボランティア向けに、芝生の維持管理に関する実地講習会を開催します。

【お問合せ】 公益財団法人都市緑化機構（担当：一條、今井）

電話：(03)5216-7191 ファクシミリ：(03)5216-7195



東京都教育委員会校庭芝生化推進事業

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 〒163-8001 都庁第二本庁舎27階北側 東京都教育庁地域教育支援部義務教育課 校庭芝生化推進担当
電話 (03) 5388-3567 ファクシミリ (03) 5388-1734
東京都教育委員会印刷物登録 平成26年度 第46号